

# 三島公民館だより

## 11月

No.141

### スポーツの秋 三島地区球技大会開催

十月二十九日(日)は「三島地区球技大会」の予定でしたが、前日からの雨の影響でグラウンドコンディションが悪く、やむなくソフトボールは中止、また、老人クラブのクロッケーは十一月一日に延期となり、レクバレーのみの実施となりました。ソフトボール等が中止になったため、レクバレー会場には多数の部落応援者が駆けつけ、熱戦をひろげる選手に声援を送っていました。

結果は次のとおりです。

順位	部落
優勝	下大野
準優勝	川上
3位	広見
4位	延・久
5位	小松



惜しくも準優勝！！川上部落



みごと優勝！！下大野部落

十一月一日に実施したクロッケーの結果は次のとおりです。

順位	チーム名
優勝	下大野 B
準優勝	小松 B
3位	小松 A
4位	下大野 A

優勝 下大野Bチーム



準優勝 小松Bチーム



また、三島クロッケー部は、九月九日(土)に開催されました年金友の会鬼北支部大会で、優勝小松A、準優勝川上という好成績を残されました。

## 生涯学習教室開講

九月二十九日に牛鬼面作り教室、十月十九日にパソコン教室を開講しました。

牛鬼面作り教室では、十一月十九日の農民祭・総合文化祭での展示に向けて、図面の下書き、型の切り抜き、組み合わせ、和紙張り、色付けなど、お互いの作品を見比べながら完成に向けて作業を進めました。

パソコン教室では、多数の受講生が集まり、パソコンの基本操作を勉強して年賀状作りを行いました。年賀状に欠かせない干支のイラストは、インターネットを活用し、オリジナルの年賀状作りに取り組みました。それぞれの作品は、十一月の三島小学校で開催された総合文化祭に出展しました。



## 戸祇の子学級開催

### いもたき交流会

十月十三日(金)戸祇の子学級恒例のいもたき交流会を行いました。

高学年が、午前中準備を行いました。大きなクドに杉葉を入れて火をつけ、順に大きな薪に火が付くように木を入れていくのですが、思うように火が回らず、悪戦苦闘の末、お湯が沸きました。

午後からは、老人クラブ役員の方々と、お待ちかねのいもたき交流会です。クロッケーのルールの説明や、昔の話、児童の発表会、肩たたきのサービス等、和気あいあいの交流会でした。



## 三島の最高峰 戸祇御前山登山

十一月五日(日)戸祇山へ登ろう会(戸田功一会長)主催による登山が開催されました。三島小学校児童・先生・保護者をはじめ、町内外また当日参加者で、出発式後、標高九百四十六メートルの戸祇山を目指し、小学校を後にしました。

登山道には、二箇所トイレ、急傾斜面にはロープが設置され、女性や児童も安心して頂上を目指すことができました。

山頂に到達すると、お弁当で昼食をとりました。三百六十度の、パノラマを展望した後、グループごとに記念写真を撮影しました。

そして、下山の後、温かい猪鍋に、ほっとさせられ、解散となりました。



川上野地風景



山頂の様子

## 秋の交通安全茶屋開設

交通安全協会三島支部（伊手厚子支部長）が、秋の全国交通安全運動期間中の九月二十五日（月）に善光寺下の三叉路において、午前十時から約一時間、警察署、小松保育所園児の協力を得て、交通安全茶屋を開設しました。園児とともに、百人のドライバーに、安全運転を呼びかけました。ドライバーからは、思わぬプレゼントに「ありがとう。」とうれしそうに返事がありました。

交安協役員のみなさん（上）と、小松保育所の園児たち



## えひめ国体民泊受け入れ バレーボール少年女子

九月三十日に開幕した「笑顔つなぐえひめ国体」。愛媛県での開幕は、昭和二十八年に四国の四県で共同開催されて以来六十四年ぶり、初めての単独開催となります。三島地区の延川、小松、川上部落では、三チームを万全の態勢で迎えました。「出会いがあれば、別れあり」、出会って数日間とは思えないほどの親近感を覚え、選手を見送りました。

また、小松部落受入れ選手団の地元新聞には、協力会のおもてなしを心の交流とし、二年前からの準備を通して、競技以外の民泊の意義を掲載されていました。



# 行事予定

## — 12月 —

- 3日 (日) 防火デー
- 15日 (金) 運営審議会
- 23日 (土) 天皇誕生日 
- 26日 (火) 戸祇の子学級  
注連飾り作り
- 28日 (木) 御用納め

## — 1月 —

- 1日 (月) 元日 
- 8日 (月) 成人の日 

祝・祭日には国旗を立てましょう。

### 発行者

鬼北町小松 1523

三島公民館

電話：48-0111

FAX：48-0303

鬼北町ホームアドレス

<http://www.town.kihoku.ehime.jp/>

リレー  
エッセイ

「秋田選手団を川上地区に迎えて」

我が愛しの三島



今回は、川上地区民泊協力会美化歓迎班の土釜恵子さんに執筆していただきました。

えひめ国体で、川上地区も民泊を受入れ、私も美化歓迎班に参加しました。今年は雨が少なく、天候不順で苦労しましたが、サルビア・ベゴニア等の花々がきれいに咲きました。それぞれの班の皆さんの協力により、当日までに準備万端で、選手を迎えることができました。民泊開始一日目、バスから降りてきた選手団は、しばし不安な表情でしたが、歓迎会が進む

につれ、地区の皆さんとも打ち解け、乾杯の頃には、談笑するほどになりました。

初戦選手達は、見事なプレーで、難敵を退けました。二回戦は、相手チームの巧みな戦術に苦戦、応援席は、秋田の応援団と民泊協力会で一喜一憂。たくさんの方の声援にも関わらず敗退しました。

その後、慌ただしい送別会となりましたが、選手達も疲労の顔も見せず、笑顔で参加してくれました。翌朝、心からの感謝の言葉と爽やかな笑顔を残り、鬼北の地を後に、遠い秋田のふるさとに向けて帰って行きました。

「一陣の風」のような四日間でしたが、選手達の爽やかな笑顔と、地元川上地区の皆さんとの、心あたたまる交流を大切に思い出として、いつまでも私の心に残しておきたいと思えます。

国体を顧みて、民泊の意義を感じるとともに、川上地区の絆が、より一層深まりました。

## 「乳神様」遊歩道完成

延川地区、山中にあるパワースポット、お乳の神様「乳神様」の遊歩道がこのたび完成しました。延長約七百メートルでお参りには最高の山道となりました。山ガールの皆様ぜひ一度、出かけてみてはいかがでしょうか。



## 香典返しのお礼

三島自治会・三島公民館主催事業へ、次の方から金一封を頂きました。

- 十月 十三日 服部さつきさん(長野県)
- 十月 二十七日 二宮 美日さん(小松)
- 十一月十五日 松浦 靖さん(下大野)